

**学力調査等の状況**

東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果によると、各教科の学習が「得意」「どちらかというと得意」と答えた生徒が東京都・町田市の結果と比較して高いもしくはほぼ同等の数値であった。各教科で行う単元テストや、ワークシート、また学校全体で行う家庭学習ノートの実践により、生徒の自信につながったと考えられる。しかしながら、授業の内容を「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と答えた生徒に関しては、東京都・町田市の結果と比較して若干低い数値の傾向があった。

**見えてきた課題**

東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果によると、学校以外で平日に毎日どれくらい勉強しているかという質問に対し、毎日2時間・1時間以上学習すると答えた生徒が、東京都・町田市の結果よりも若干数値が低い傾向にあった。家庭学習ノートの取り組みなど本校独自で行っているが、しっかりと実践している生徒が多い中でも一部生徒で取り組むことがなかなかできていない生徒もいる。授業や教科に対する得意意識・学習意欲の高い生徒も多いので、授業の内容を家庭学習につなげる取り組みを増やしていく必要がある。

**授業をデザインする8つの取組について**

<b>ICT機器の活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修会でChromebookの効果的な活用法の講義を受講し、各教科・学年で効果的な活用方法について話し合い、検討していく。</li> <li>○ICTを活用することにより、視覚的な情報からイメージさせたり、生徒の思考を提示することができる。</li> <li>○生徒同士で共同編集をすることにより多様な考えを共有し、生徒同士の対話的な学びが可能となる。</li> </ul>
<b>見通しをもたせる導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が何を学ぶか、どのように学ぶのか、単元の見通しや本時の見通しをもてるように学習の流れやめあてを提示する。</li> <li>○生徒の興味・関心が高まるように、課題の提示を工夫する。現物を提示したり、視覚教材を工夫し、生徒内発的動機付けを高め、見通しをもたせる導入を心がける。</li> </ul>
<b>価値ある対話の共有</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較・検討・分類・統合・関連付けをしながら、考えを広げることができるよう、生徒一人一人の考えを表現させ、価値ある対話を増やしていく授業を心がける。</li> <li>○考えたことをペア・グループ・全体で発表し合うだけではなく、教師が一人ひとりの多様な考えを広げ、価値付けていくように工夫していく。</li> </ul>

**各教科における課題を改善するための指導の重点**

	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
<b>国語科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字・文法・聞き取りなど基礎・基本を定着させるため、小テストや家庭学習を通じて、反復学習を促す。授業や定期考査では発展的な問題も出題し、生徒の実生活に結びつくよう工夫する。</li> <li>○スピーチや話し合い活動、作文や創作活動などの積極的な言語活動を通じて、活用型学力の伸長を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字や文法の小テストを行い、学習習慣の定着を図る。</li> <li>○ICT機器を活用し、生徒の理解を深める。</li> <li>○創作や作文、スピーチや話し合い活動など、生徒が主体となる活動を盛り込むことで、授業で学んだ知識技能を活用させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業毎に小テストを行い、家庭学習の習慣と基礎基本の定着を図る。</li> <li>○単元に関わる本や調べ物を紹介し、読書活動の推進と、主体的に学習する態度を育てる。</li> <li>○作文、短歌制作、書道等のコンクール応募を促し創作活動を奨励する。</li> <li>○ICT機器を活用し理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業毎に小テストを行い、家庭学習の習慣と基礎基本の定着を図る。</li> <li>○単元に関わる本や調べ物を紹介し、読書活動の推進と、主体的に学習する態度を育てる。</li> <li>○作文、短歌制作、書道等のコンクール応募を促し創作活動を奨励する。</li> <li>○ICT機器を活用し理解を深める。</li> </ul>
<b>社会科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題や本時の目標を明示し、社会的な見方・考え方を働かせられるような問いを設定する。</li> <li>○単元全体を見通しをもって取り組ませる。対話的な学びを通して、思考を深め、知識・技能を身につけるとともに、学習したことを活用できるような授業を設定することで活用型学力を向上させる。</li> <li>○単元の内容を振り返りやすいように、ワークシートや板書、小テストなどを工夫し、学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の導入時に、「単元を見通した問い」と「1単位時間ごとの問い」を一覧することができる振り返りのためのワークシートを配布し、生徒も授業者も単元全体の見通しをもって授業に取り組むことができるようにする。</li> <li>○意見の共有や思考したことを表現するなど、目的に応じて適切にICTを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を通じた学習を意識させるため、毎時間の授業の終わりのまとめや復習を取り入れる。知識・技能を用いて、社会的事象を検証し、思考・判断・表現の能力を伸ばす。○プロジェクターなどのICT機器を利用し、視覚的に生徒の思考に訴えかける活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の導入時に「単元を見通した問い」を考え、本時の目標の明示を行うことで単元の見通しをもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>○毎時間の学習課題と振り返りのワークシートを活用する。ICTを活用し、協働学習や意見共有を通して、社会的な見方・考え方などの思考を深められる学習活動を行う。</li> </ul>
<b>数学科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元ごとに見通しをもたせ「単元を通じた問い」「できるようになること」などを提示し学びに向かう力を養う。</li> <li>○生徒が思考を深めるためにICTを積極的に活用し、多様な考えの共有や表現する機会を作ることで深い学びができる授業デザインを行う。</li> <li>○授業ごとや単元ごとに振り返りの時間を設け、学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の始めと終わりに振り返りシートを作成させることによって、見直しをもって学習ができるようにする。また、振り返りの中で既習事項を用いて社会生活にどう生かしていくかを考えさせる。</li> <li>○単元ごとに小テストを行い、知識や技能の定着を確認する。また単元の最後には課題解決型の課題に取り組む、自ら深い学びをできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「PoMMシート(毎授業を振り返るWS)」を使って学習記録を取り、学習に見直しをもたせ、自己理解力、課題解決力等を育成する。</li> <li>○Chromebookを使い、小テストで知識の定着を確認したり、レポートや問題解決的な課題で深い学びを行い、技能と見方・考え方を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章ごとのレポート作成や発表する活動を取り入れる。数学的な思考力判断力表現力の育成に取り組む。また、Chromebookで小テストなどを行い、知識の定着を図る。</li> <li>○単元ごとに小テストを行うことで、知識や技能の定着を確認するとともに、問題解決型の課題で深い学びを行う。</li> </ul>
<b>理科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元ごとに身につけさせたい資質・能力を明確にし、生徒が理科の見方・考え方を働かせて主体的に問題解決に取り組めるような授業展開を実践する。</li> <li>○生徒の思考力判断力表現力の向上を目的とした「話し合い・発表活動」と、自己の思考の深まりを目的とした「振り返り」を重点的に行う。</li> <li>○ICTを活用し、考えの共有や思考の深まりを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を通じて計画的に、科学的な見方・考え方を育成するため特に1学年では、実験・観察時にはワークシートなどを多く活用し、発問に対する考察時間を多く取り入れ問題解決をする活動を取り入れる。加えて、生徒の関心・意欲を高めることができるような課題設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を通じて計画的に、科学的な見方・考え方を育成するため特に2学年では、実験・観察時に発表する場を多く取り入れ、結果分析・考察の問題解決をする活動を多く取り入れる。加えて、生徒の関心・意欲を高めることができるような課題設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を通じて計画的に、科学的な見方・考え方を育成するため特に3学年では、小テストに应用問題・レポートの考察欄を多く取り、班員と深く返る時間を入れて、探求の過程を振り返りまた深く考える活動を取り入れる。加えて、生徒の関心・意欲を高めることができるような課題設定を行う。</li> </ul>
<b>外国語科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語や英文の小テストを単元テストとして行い、生徒の基礎基本を定着させ、また達成感を得させる。</li> <li>○ALTを活用し、スピーチなどの発表・インタビューテストなどを行い、表現力を伸長させる。</li> <li>○意味ある活動の中で、ペアワーク・グループ活動を多く取り入れて、どの生徒も意欲的に学習に取り組むようにする。</li> <li>○ICT機器を教員も生徒も活用・利用しながら、生徒の発話量を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語や英文の小テストを行い、生徒の基礎基本を定着させ、また達成感を得させる。</li> <li>○ALTを活用し、スピーチなどの発表・インタビューを行い、表現力を伸長させる。</li> <li>○意味ある活動の中で、ペアワーク・グループ活動を多く取り入れて、どの生徒も意欲的に学習に取り組むようにする。</li> <li>○ICT機器を利用しながら、生徒の発話量を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語や英文の小テストを行い、生徒の基礎基本を定着させ、また達成感を得させる。</li> <li>○ALTを活用し、スピーチなどの発表・インタビューを行い、表現力を伸長させる。</li> <li>○意味ある活動の中で、ペアワーク・グループ活動を多く取り入れて、どの生徒も意欲的に学習に取り組むようにする。</li> <li>○ICT機器を利用しながら、生徒の発話量を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語や英文の小テストを行い、生徒の基礎基本を定着させ、また達成感を得させる。</li> <li>○ALTを活用し、スピーチなどの発表・インタビューを行い、表現力を伸長させる。</li> <li>○意味ある活動の中で、ペアワーク・グループ活動を多く取り入れて、どの生徒も意欲的に学習に取り組むようにする。</li> <li>○ICT機器を利用しながら、生徒の発話量を増やす。</li> </ul>

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現分野や鑑賞分野などの音楽活動を通して、音楽的な要素を感じ、それを話し合い活動等で共有しつつ、根拠をもとにした批評が行えるよう思考力・判断力・表現力を培うことができる場面を想定した授業を組み立てる。</li> <li>○めあてやねらいを明確に提示し、達成すべき目標を意識した取り組みにさせるとともに、見通しのよい授業のすすめかたを目指す。</li> <li>○授業プリントとICTの活用を見直し、特にユニバーサルデザインを意識した誰にでもわかりやすい授業を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適宜話し合い活動を取り入れ、進度に合わせて、座席配置の工夫、ワークシートの工夫等思考の経過がスムーズ且つ可視化できるようにした。</li> <li>○歌唱においては、歌唱における正しい姿勢や呼吸法、発声法などまだ定着しておらず、歌唱における表現力の技術的な面の向上ができるよう指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体の成長による声質の変化に着目させ場面によっての歌唱法を身につけることができるよう音楽的な観点を意識させ歌うことができた。</li> <li>○鑑賞においては、ひとつひとつの音に耳をかたむけ、その音楽の持つ特徴や雰囲気を感じ、感受したものを言語化して他に伝えたり、自己で理解を深めたりできるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽と向き合うときに楽譜からの情報とその楽曲の背景を総合的に理解し、歌唱や鑑賞時の感受する雰囲気や感想に根拠や理由を見つけ出せるよう話し合い活動なども含め考える時間を多くとった。</li> <li>○自身の生活と音楽との関わりを考え、音楽の多様性と必要性について知り、今後どのように音楽と生涯向きあっていくか感受できる態度を養う。</li> </ul>
美術科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品制作の途中にも鑑賞活動や振り返りなどの活動を取り入れ、表現と鑑賞を関連させた授業展開を行う。</li> <li>○鑑賞を充実させることで、個人の考え方を柔軟に広げ、他者のさまざまな意見を受容する態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アートカードを使って楽しみながら鑑賞を行った。ゲームをしながら、クラスメイトと感想を伝え合うことで、お互いの見方考え方の違いを認識し、違うことが面白いという態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用しながら、関連する作品の鑑賞の充実を図っている。</li> <li>○作った作品をICTで、制作者にプレゼンしてもらった。作品のみを鑑賞するだけではなく、プレゼンの内容や仕方も工夫させることで、他者の違いや面白さを受容する態度を養っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用しながら、関連する作品の鑑賞の充実を図っている。</li> <li>○製作中や制作後にクラスメイトの作品を見るのを通して、他者の違いや面白さを受容する態度を養っていく。</li> </ul>
保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持久力・瞬発力等、基礎体力の向上を目標に、補強運動や筋力トレーニングを効果的に取り入れる。</li> <li>○1時間の中で、身体活動の時間を十分に確保するようにし、ポイントを意識した反復練習を数多く行うことで、技能の習得を図る。</li> <li>○単元ごとに学習カードを活用し、技能や記録の向上について考えたことを文章に表現することにより、思考を深め、学習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の中で、単元に関わる基礎体力の向上を図るためのトレーニングを導入していく。</li> <li>○協力することで個人技能の高まりと集団技能の向上を図ることができる。</li> <li>○各単元で課題解決型の学習を取り入れ、話し合いやアドバイスなど表現力の向上を図る展開を行う。</li> <li>○運動量の確保のため、ルーティンを使って授業の流れの理解を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の中で、単元に関わる基礎体力の向上を図るためのトレーニングを導入していく。</li> <li>○協力することで個人技能の高まりと集団技能の向上を図ることができる。</li> <li>○課題解決型の学習を取り入れ、話し合いやアドバイスなど表現力の向上を図る展開を行う。</li> <li>○運動量の確保のため、ルーティンを使って授業の流れの理解を進める。</li> <li>○座位での説明や指導の時間を短縮するため、技能のポイントを図や短くわかりやすい言葉で示すようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の中で、単元に関わる基礎体力の向上を図るためのトレーニングを導入していく。</li> <li>○協力することで個人技能の高まりと集団技能の向上を図ることができる。</li> <li>○各単元で課題解決型の学習を取り入れ、話し合いやアドバイスなど表現力の向上を図る展開を行う。</li> <li>○運動量の確保のため、ルーティンを使って授業の流れの理解を進める。</li> </ul>
技術・家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○五感に訴える体験学習をより多く実施していくことにより学習意欲を高める。</li> <li>○題材ごとに身につけさせたい技能・知識を明確に伝え、細かな自己評価活動を取り入れ、学習意欲の向上を図る。</li> <li>○実生活の中からの課題を解決するレポートの提出。反復・繰り返し学習を行い、実技試験を定期的に実施し、基礎技能の定着を図る。</li> <li>○生徒同士の話し合い活動や調べ学習、製作品の発表などの場を積極的に設け、表現力を養うとともに、表現する充実感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を通じて計画的に、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度を育成するため特に1学年では、設計や材料の切断、縫い方など五感に訴える体験学習を多く取り入れ基礎的な技能知識を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を通じて計画的に、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度を育成するため特に2学年では、演習問題やグループワークを多く取り入れ周りの意見を聞きながら技術を適切に評価する力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を通じて計画的に、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度を育成するため特に3学年では、実際の社会的問題を解決するための課題を多く取り入れることで、技術を適切に評価する力を活用する能力を身につける。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育を主軸として、1年生では自己理解、2年生では地域での職場体験、3年生では進路学習など3年間を見通して指導を行う中で、積極的に「表現力の育成」「探究的な活動」を積極的に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人一人が個人テーマを設定し、調べ学習を行いレポートを作成した。テーマごとに分科会形式で集まり、相互に助言を与えながら、探究学習を深めている。今後、スライドを作成し、プレゼンテーションを実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育を行い、多角的な視点から学ぶ理由を各生徒が自分なりに見出し、レポートにまとめ、プレゼンテーションソフトを用いて発表を行った。</li> <li>○共生フェスタを実施し、探求学習を実際に深めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア学習として、自分の価値観・適性を知る、学ぶことの目的と意義、卒業後の進路について学習した。卒業後の話を聞き、具体的に進路についてイメージを行った。</li> <li>○進路学習では、自分を見つめ、具体的に進路について考えた。</li> </ul>
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導計画に基づいた授業実践の中で、生徒が自分にひきつけて考え議論することを通して、生徒の道徳的判断力・心情・実践意欲を育む。特に、いじめに関する題材を取り上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導計画に基づいて、学年教師全員による輪番制で道徳を実施している。道徳授業地区公開講座では、いくつかの道徳的な価値が対立する中、考える道徳授業を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導計画に基づいて、学年教師全員による輪番制で道徳を実施している。道徳授業地区公開講座では、身近な題材でブレインストーミングを通して対話的な道徳を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導計画に基づいて、学年教師全員による輪番制で道徳を実施している。道徳授業地区公開講座では、身近な例を通して、相手の立場を考えて尊重する姿勢について学ぶ授業を行った。</li> </ul>
各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育大会や合唱コンクールへの取り組みを通して、一つの目標に向けて取り組み、仲間と団結する力や先輩に対する尊敬や、後輩への思いやりなどを身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育大会への取り組みを通して、学級間でお互い良さを認め合い、新しい人間関係づくりを行った。</li> <li>○合唱コンクールへの取り組みを通して、仲間と団結する力の醸成や先輩へから学び自己の伸長を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育大会の取り組みを通して、仲間と団結し一つの目標に向かって取り組むことの大切さを学ぶ。3年生の姿から学び補佐し、1年生には先輩として思いやりをもって接し、手本を示した。</li> <li>○合唱コンクールを通して、文化的行事をともに作り上げるすばらしさを学ぶ。仲間とともに楽しく取り組み、自己の伸長と仲間と団結する力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修学旅行では、まとめ学習を各自実施した。事前学習を生かした班行動計画を作成し、仲間と協力しながら現地で行った。</li> <li>○体育大会・合唱コンクールへの取り組みを通して、仲間と団結する力や先輩への思いやりの醸成を行う。</li> </ul>